がん種	大腸癌	レジメン名	FOLFIRI+パニツムマブ（インフューザーポンプ）	1コース日数	14
対象疾患	KRAS遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌	総コース数	病勢進行まで継続		

	投与順	薬剤	投与量	投与方法	投与時間	投与スケジュール							
						1日目	2日目	3日目	・・・	・・・	・・・	・・・	14日目
治療内容	RP1	生食シリンジ	10mL	ワンショット静注		●							
	RP2	デキサメタゾン	9.9mg	点滴静注	15分	●							
		クロルフェニラミン	5mg										
		生理食塩液	50mL										
	RP3	パニツムマブ	6mg/kg	点滴静注	1時間	●							
		生理食塩液	100mL										
	RP4	生理食塩液	100mL	点滴静注	30分	●							
	RP5	グラニセトロン	3mg/100mL	点滴静注	30分	●							
	RP6	レボホリナート	200mg/㎡	点滴静注	2時間 RP7と同時	●							休薬完了
		5%ブドウ糖	250mL										
	RP7	イリノテカン	150mg/㎡	点滴静注	1.5時間 RP6と同時	●							
		5%ブドウ糖	250mL										
	RP8	フルオロウラシル	400mg/㎡	点滴静注	5分	●							
		生理食塩液	50mL										
	RP9	フルオロウラシル	2400mg/㎡	点滴静注	46時間	●							
		生理食塩液	※										
	RP10	ヘパリンNaロック	10mL	ワンショット静注				●					

支持療法	day2,3デキサメタゾン8mg内服考慮 治療開始時、ミノサイクリン錠（50mg）2錠分1、ヘパリン類似物質ローション（体）1日数回使用 皮疹発現時、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリーム（顔）、ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏（体）、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション（頭）使用 掻痒感発現時、フェキソフェナジン（60mg）2錠分2内服 皮疹・爪囲炎悪化時、ミノサイクリン錠（50mg）4錠分2、ヘパリン類似物質ローション（体）1日数回、ヒドロコルチゾン酪酸エステルクリームまたはベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏（顔）、クロベタゾールプロピオン酸エステルクリーム（体）、白色ワセリンまたはジメチルイソプロピルアズレン軟膏（皮膚亀裂部位）、ベタメタゾン吉草酸エステル・ゲンタマイシン硫酸塩ローション（頭）使用
備考	※生食の量は5-FUの量に応じて調整 RAS野生型にのみ適応 イリノテカン：UGT1A1測定 適宜血中Mg測定